

会議録(概要)

会議の名称	第3回 令和6年度 佐渡市男女共同参画推進懇談会
開催日時	令和6年11月28日(木) 午後1時30分から午後3時
場所	佐渡市役所 本庁 2 階 会議室 1-202
議事	① 第4次佐渡市男女共同参画計画について ② その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	委 員：4名 事務局：市 民 課 課 長 計良 好昭 人権啓発係 係長 小田 麻美 主事 備家 悠一郎 その他：第四北越リサーチ&コンサルティング(委託業者)
傍聴者	なし
会議資料	・【資料 No.1】第3次計画の課題と見直しの方向性 ・【資料 No.2】(素案)第4次佐渡市男女共同参画計画
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
計良課長 （事務局）	（開会挨拶）
（座長の選任）	
座長	議事①「第４次佐渡市男女共同参画計画」について、事務局から説明をお願いします。
（資料 No. 2 に基づき概要説明）	
座長	総合指標について、すべての指標の平均点とあるが、何か基準があるのか。
備家 （事務局）	現状の数値が５で目標数値を１０とした場合、評価時に数字が５のままであれば横ばいとして進捗数値は０、４の場合減っているので後退として－１、６の場合前進として＋１、１０になっていれば達成で＋２。横ばいと前進の基準は、目標数値までの改善幅を１００％とした場合、毎年２０％以上改善されていれば前進、現状数値以上２０％未満の改善であれば横ばいといった基準。佐渡市総合計画の効果検証の評価と同じ基準だが、評価の単位がアルファベットだと分かりにくく感じたので、数字に置き換えて全ての指標の平均点を総合指標にしたい。佐渡市男女共同参画計画は何を目指してるのか、と聞かれた時に、この平均点を上げることなんですというふうに、見える化したほうが良いと考えている。
A 氏	数字による評価は分かりやすくてよいと思う。健康診断などでもＡＢＣＤだと分かりづらいときがあるので導入してほしい。一般の人からしたらなじめないものだと思うが、数値にしたほうが分かりやすいと思う。 基本理念のところで、レジュメでは「国際協調」で資料 No. 2 の素案では「国際的協調」と書かれているがどちらが正しいのか。
備家 （事務局）	「国際“的”協調」が正しい。 第３次計画にも書いてあるが、基本理念は男女共同参画基本法を元にしてあるが、文言の一部は表現を佐渡市バージョンに改めたところがある。ご指摘ありがとうございます。
座長	計画の内容の続きを、事務局から説明をお願いします。
（事務局より説明）	
座長	重点目標１０について、施策に対する指標を増やしたいということか。
備家	その通りで、可能であれば、主管課それぞれに指標を設定することが１番

(事務局)	良いと考えている。ただ各課と話し合いをしていく中で全部入れられるのはちょっと分からない。今までは市民意識調査を指標としていたところを、毎年行っているアンケートなどで指標となり得るかどうか、各課に聞いていきながら設定したい。
B 氏	重点目標 11 の施策「生活困窮者への具合的かつ継続的な支援」と「一人親家庭への具体的かつ継続的な支援」とあるが、” 具体的かつ継続的” とは何を指すなのか。
計良課長 (事務局)	具体的には金銭的支援や精神的支援など、何を指すのかを明記する必要があるのかもしれない。
B 氏	” 具体的” と書いてある以上、それは何かをすべて答えられることが重要であり、それをやってくれるのであれば問題はない。
備家 (事務局)	今までは生活困窮者に対する自立支援事業をおこなっており、就労の相談、家庭支援を含めている。これは男女の計画関係なくおこなっている。次期計画は「困難な問題を抱えた女性」に対する施策に発展という形にしたい。例えば県からの「つながりサポート事業」があり、佐渡市では児童扶養手当の家庭を対象に女性用生理用品の配布といった、いわゆる「生理の貧困問題」に対応している取組を毎年おこなっている。次期計画では同様の取組をピックアップさせたい。 今までは各課の取組として、こうした事業をおこなっています、という書き方だが、具体的に誰に何をしてるっていうところをピックアップさせる必要があると考えるため、このような書き方にさせていただいた。
B 氏	計画の施策の内容の説明の中に” 具体的” っていう言葉があると、受け手側はいろんな解釈をしてしまう可能性があるから、そこは少し怖いかもしれない。
計良課長 (事務局)	例えば現時点で相談窓口がないため、次の計画のなかで新たに整備するといった、話が繋がるような説明をしたほうがわかりやすく感じるのでは。
A 氏	第 3 次計画から関わっていく中で、さまざまな社会背景の中で吟味しながら計画が進んでいる感じが見受けられるので、私としては評価に値していると思っている。質問だが、資料 No. 2 の 31 ページ、「指標 1 5 市職員の合計時間外勤務時間数」について、この時間外勤務時間は、会計年度任用職員の数も含めた時間外なのか。それによりトータルの時間数は変わってくると思うので。
備家 (事務局)	含まれているかどうかについては、この場ではお答えできる資料がない。

座長	結果的には1人当たりの時間を減らすことが目的となってくるのだろうが、この表現は覚えられやすいと感じる。
A 氏	合計時間になると、分母が大事になってくると思ったのでこの質問をした。同じページの「指標 16 『さどマッチボックス』における、年間の掲載数に対する採用率」について、佐渡に住んでいない方がバケーションで佐渡に来た時に単発でバイトをしたっていう人も含まれているということで良いか。
備家 (事務局)	その通りでこの書き方だと市民でない方も含まれている。現計画の指標についても分母が見えにくいというご指摘をいただいたので、改善したい。
A 氏	36 ページの「指標 2 6 佐渡市における福祉相談員の人数」とあるが、これには民生委員や人権擁護委員さんとかをひっくるめた人数か。
備家 (事務局)	含めていない。生活に支障がある人やその家族に対して、相談に応じたり、社会的支援を行ったりするソーシャルワーカーのこと。担当課と話をしたが、人口が減っている中で、この人員を増やすのは非常に厳しいという話があったので、変更を検討しているところ。
C 氏	この計画は男女が平等に目的とした計画であり、中身を見ていくと、基本的に大人の女性を対象にしていると思うが、子どもについても、どこかに言葉としてあれば良いのでは。
備家 (事務局)	重点目標 10 の具体的な施策のところは、「年齢や性別に関係なく、誰もが相談できる体制を構築します」と書いており、担当課に子ども若者課や学校教育課も入れている。また、学校は子ども若者課と連携会議をおこない相談に関する対応をおこなっている。取組としてはやっているが、書き方だと分かりづらい。兼ねているが、子どもに対してピックアップはしていない。
(次期計画の副題について、事務局より説明)	
備家 (事務局)	今では副題の文言が計画全体の基本理念として設定されている。次期計画において皆さんの知恵をお借りしたいと思う。 現段階では、前回の会議で出た意見の中で、「男女共同参画計画ではあるが、最終的に男女関係なくすべて個人として認められる社会が最終目標」が最もであり、それを鑑みると今の副題のままでよいのではないかとというのが事務局の意見。
D 氏	計画の方向性として大きく変更がなければ今のままでもよいと思う。明るい未来を目指すのであれば、“希望” や“光” という言葉を入れても良いのではないか。

計良課長 (事務局)	人権の計画に” 明るい社会 ” という言葉を使ってしまっているので、バッティングしないようにしたい。
座長	言葉ひとつひとつは今の計画の副題は良いと思う。それに加えて未来に関する言葉もあってもよい。
A 氏	委員の方から募っても、時間も人数も限られているので、計画策定に携わる職員から案を募ってもよいのでは。
計良課長 (事務局)	来年 1 月におこなう計画のパブリックコメントの時に市民の皆さんから広く募集をおこなうという形もよいのでは。
A 氏	いくつか選択肢を出す形でも。パブリックコメントに意見を出す人がどれくらいいるかにもよるが。
計良課長 (事務局)	資料 No.2 23 ページ、重点目標 I は生活と地域と書いているが、中身からすると家庭と地域なので、家庭と生活、どちらの言葉のほうがしっくりくるのか。どちらの方が市民の方にとって分かりやすいのかを考えている。 また、旧姓利用の機会を拡大する施策について、夫婦別姓制度を国が議論を進めている中で、それとは別に旧姓利用の機会を進めてますというスタンスが、計画を見る側からすると少し混乱をするのではないかという懸念がある。
A 氏	苗字を変えた当事者の意見としては、計画に載せることによって混乱はしないと思う。
(事務局よりその他について説明)	
A 氏	前回の懇談会でお話があった 11 月 3 日のセミナーの報告について、聞かせて頂きたい。
(事務局より 11 月 3 日の男女共同参画セミナーについて説明)	
座長	これで議事を終了させていただきます。 本日、皆さんから出たご意見等を踏まえて、事務局のほうは引き続き作業を進めていってほしいと思います。後の進行は事務局にお返しさせていただきます。
備家 (事務局)	令和 6 年度第 3 回佐渡市共同参画推進懇談会を閉会いたします。 ありがとうございました。